

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社 ☎550 大阪市西区千代崎3-2-95 ☎大阪06 (586)3200
南部支社 ☎599 堺市住吉橋町2-2-19 ☎堺0722(38)1131
北部支社 ☎589 高槻市藤の里町39-6 ☎高槻0726(71)0961
東部支社 ☎578 東大阪市稲葉2-3-17 ☎河内0729(62)1131
兵庫支社 ☎650 神戸市中央区東川崎町1-8-2 ☎神戸078(360)3100
京都支社 ☎604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358 ☎京都075(291)9151
奈良支社 ☎631 奈良市学園北2-4-1 ☎奈良0742(44)1111
和歌山支社 ☎640 和歌山市本町1-5 ☎和歌山0734(31)2481
兵庫西支社 ☎670 姫路市神屋町4-8 ☎姫路0792(85)2221
豊岡支社 ☎668 豊岡市三坂町6-57 ☎豊岡0796(23)2221
湖南支社 ☎525 草津市追分町字荒瀬880-1 ☎草津0776(82)5311
彦根支社 ☎522 彦根市大東町12-11 ☎彦根0749(22)3191
長浜営業所 ☎528 長浜市南呉服町3-4 ☎長浜0749(62)7171
本社・ガスビルサービスセンター ☎541 大阪市中央区平野町4-1-2 ☎大阪06 (202)2221

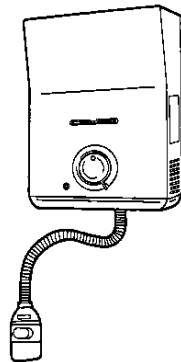
大阪ガス株式会社

ガス小型湯沸器

元止式

33-058型

型式名 YR528



取扱説明書

 大阪ガス

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。なお、
ご不明な点があればお買い求めの販売店
にお問い合わせください。

ごあいさつ

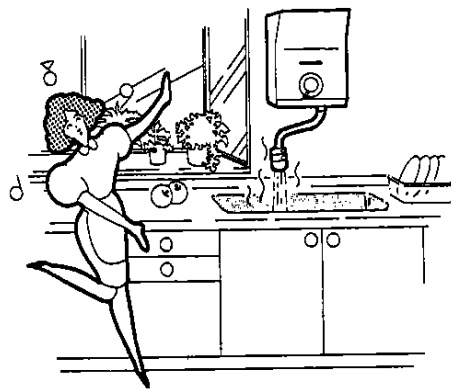
このたびは、大阪ガスのご紹介で、
大阪ガスのご紹介で、
お求めいただきまして、
まことにありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保管してください。

もくじ

● 特長・機能のご紹介	1
● 必ずお守りください	2・3
● 各部のなまえと扱い	4
● 使いかた	
● 操作前の準備と確認	5
● お湯の出しかた・止めかた	6
● 熱湯の出しかた・止めかた	7
● 水の出しかた・止めかた	8
● 凍結予防のしかた	9
● 点検・お手入れ	10・11
● 故障かな?と思ったら	12・13
● 寸法図	14
● 仕様	15
● 保管とアフターサービス	16
● 設置・工事	17・18・19・20

特長・機能のご紹介



これはもう
キッチンのインテリア!!
シンプルさがたまりません!!

操作はカンタン/
指先で轻轻一く
ワンタッチ!!

うすーく、うすーく
なって、目の前
スッキリ!!

● 手元でらくらく操作

- 手を伸ばさずスイッチポンで出湯・停止がOK /
- 器具本体をさわらないからいつもピカピカ /

● 熱湯がそのまま使えます

突然の来客や、お急ぎのとき、お茶・コーヒーさらにカップメンなどに素早く熱湯がご利用いただけるうれしい便利さです。気分はもうポット感覚!!

● お湯が飛び散りません

食器の油污れも、おっくうな冬場の洗いものも、暖かいお湯でイッキョに解決 / キッチンシャワーでお湯が飛び散りません。



● 水道栓として使えます

お湯・熱湯・水がすべてワンタッチでOK / 水量調節もできます。

● 消し忘れ防止機能付

「つい、うっかり」消し忘れた場合、(約30分後)消火・出湯を自動的に停止します。



必ずお守りください

●本器の用途について

- この器具は手もとで少量のお湯を小さなお使いになる場合に適しています。お風呂のお湯はり等の長時間出湯には適していません。

（長時間出湯は絶対にしないでください。約90分連続使用しますと自動的に停止します。）

●補助用具について

- この器具の付属品・補助用具以外は使用しないでください。不完全燃焼などの原因になります。

●湯出口管の取扱いについて

- 湯出口管を移動する場合、上下方向に無理に引張ったり、過大な力を加えますと、器具損傷の原因となりますので、ご注意ください。

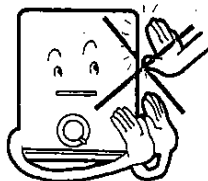


- キッチンシャワープッシュボタンには、必要以上の力を加えないでください。
- キッチンシャワー内には、スイッチが内蔵されていますので、水浸ししないようにご注意ください。お掃除の際は、洗剤や水を直接かけないで、やわらかい布でふき取ってください。



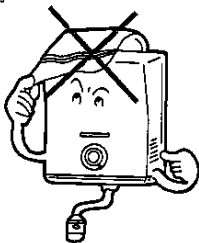
●やけどの注意

- ①使用中、または使用後しばらくは器具が熱くなっていますので、プッシュボタン・湯温調節ハンドルおよびキッチンシャワー以外には触れないでください。
- ②出湯した直後には少し熱いお湯が出る場合がありますので、はじめのお湯には手を触れないでください。



●火災予防について

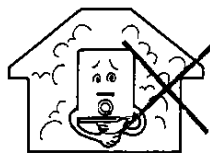
- ①器具の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。
- ②タオルやふきなどを器具の排気口の上にかぶせたり、給気口をふさいだりしないようにご注意ください。
- ③器具の上に棚があり、物を置く場合は、落下しないように、十分ご注意ください。



ガス漏れ・やけど・火災 故障などを防ぐために

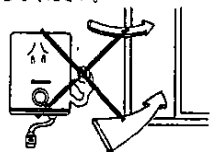
●換気について

- ①湯沸器を使うときは、換気扇を回すなど必ず換気してください。
★自動的に換気扇を回すことのできる「換気扇連動スイッチ」(別売)のご利用をおすすめします。
- ②閉めきった部屋で長時間使用すると、不完全燃焼防止装置が作動して消火することがあります。



●窓をあけてお使いになるとき

- 風通しのよい部屋で器具を使われるときは、器具に強い風があたると、不完全燃焼をおこし安全装置が作動することがあります。特に、窓ぎわに設置されている場合、器具に直接風をあてないように、窓のあけ方に注意してください。

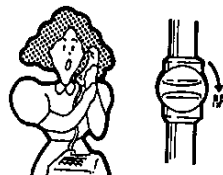


●日常の点検・お手入れ

- 日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。
- ★詳しくは10・11ページをお読みください。

●ガス事故防止

- ①お出かけやおやすみになるときは、ガス元栓を必ず閉じてください。
- ②ひび割れしたり、差し込み部がゆるんだゴム管は必ず取り替えてください。(古くなったゴム管は取り替えてください。ゴム管の寿命はおおよそ9年がめやすです。)

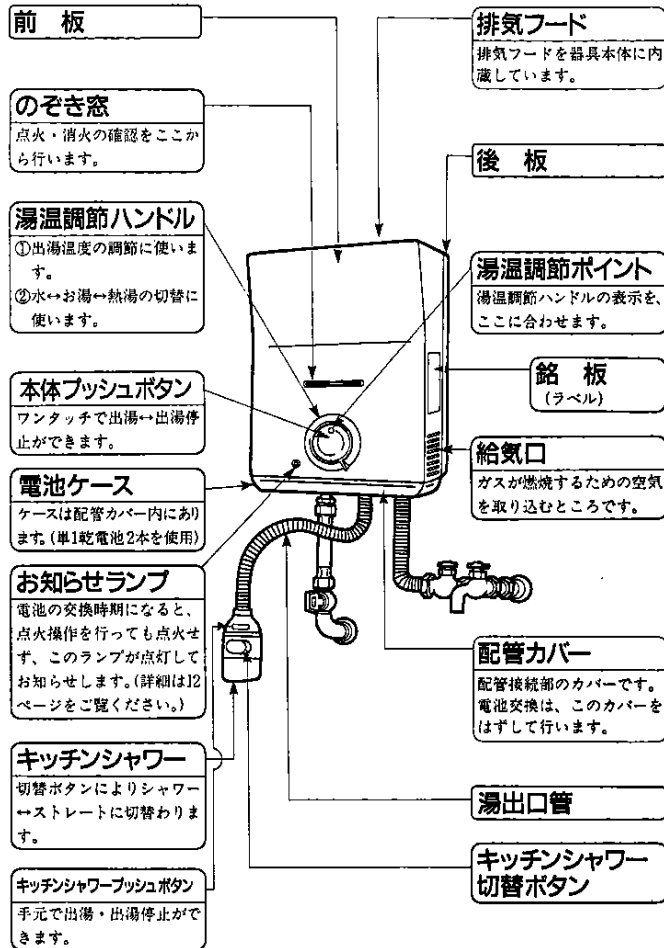


- ③ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元栓を閉め、お買い求めの販売店、またはお近くのガス供給業者にご連絡ください。
- ④万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり(スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。火や火花で引火し、爆発事故等をおこすことがあります。

●凍結予防について

- 冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため器具および配管内の水が凍って、器具や配管を破損することがあります。
- ★詳しくは9ページをお読みください。

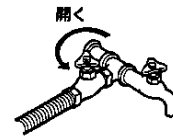
各部のなまえと扱いかた



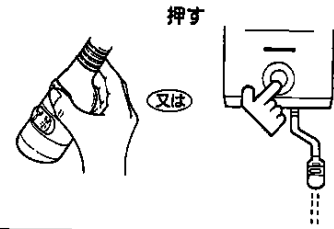
使いかた 操作前の準備と確認

●操作前の準備と確認

1 給水栓を開く

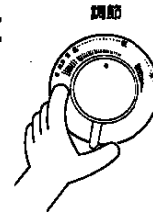


2 プッシュボタンを押し水の出ることを確認する



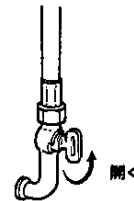
確認したら、もう一度プッシュボタンを押して水を止める。

3 「低」～「高」の間にセットする



●湯温調節ハンドルを回してセットします。

4 ガス栓を開く



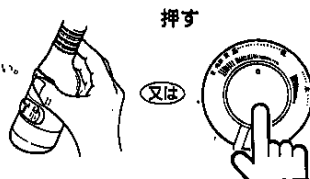
お湯の出しかた・止めかた

●お湯の出しかた(点火操作)

1 プッシュボタンを押す

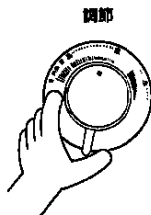
●プッシュボタンは中央部を「**真までしっかり**」押してください。

※出湯した直後には少し熱いお湯が出ることがありますので、出はじめのお湯には手を触れないでください。



2 温度を調節する

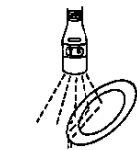
●「**湯温調節ハンドル**」で、「低」～「高」の間でお好みに調節してください。
クリック「カチノカチノ音」が付いて、微調節がしやすくなっています。



●キッチンシャワーの使いかた



切替スイッチを押すと



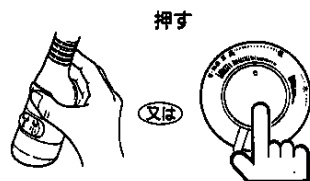
シャワーに変わります

湯温調節ハンドルを右に回すと
キッチンシャワーのモードに変わります

●お湯の止めかた(消火操作)

3 プッシュボタンを押す

※お出かけやおやすみ前には、ガス栓を閉じてください。

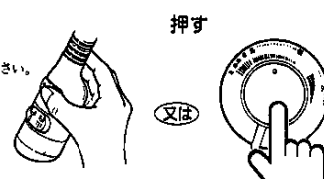


熱湯の出しかた・止めかた

●熱湯の出しかた(点火操作)

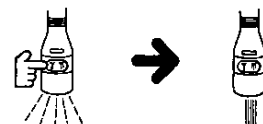
1 プッシュボタンを押す

●プッシュボタンは中央部を「**真までしっかり**」押してください。



2 キッチンシャワーをストレートに切替える

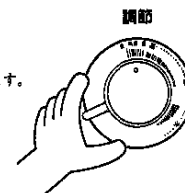
●「**キッチンシャワー切替ボタン**」によりストレートに切替えてください。



切替スイッチを押すと ストレートに変わります

3 熱湯にセットする

●「**湯温調節ハンドル**」を右に回してセットします。

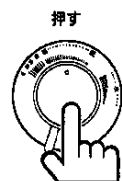


蒸気が濃く出るような場合、キケンです。器具自身のためにも蒸気の出ない位置まで、湯温調節ハンドルを左に回してお使いください。

●熱湯の止めかた(消火操作)

4 プッシュボタンを押す

※お出かけやおやすみ前には、ガス栓を閉じてください。



使用後は湯温調節ハンドルを「低」～「高」の間へ戻しておいてください。

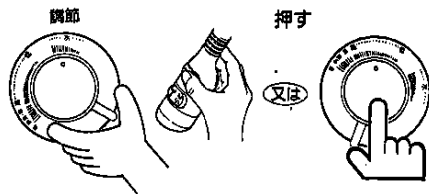
熱湯使用後はキッチンシャワーが熱くなる場合がありますから、本体プッシュボタンを押して消火してください。

水の出しかた・止めかた

●水の出しかた

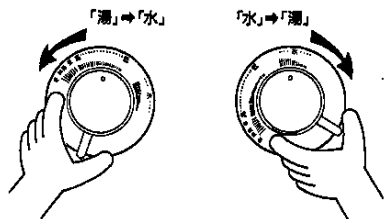
1 「水」の位置にセットし、プッシュボタンを押す。

- 湯温調節ハンドルを「水」の位置まで回してください。
- 「水」の位置では、ハンドルを左に回すほど「水の量(少)をく」なります。



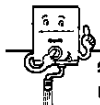
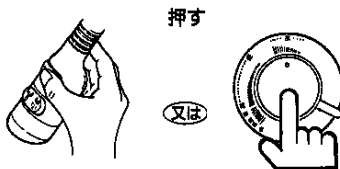
●お湯から水への切替

「水」に湯温調節ハンドルを合わせると自動的に消火して、水に切替わります。再度、「低」～「高」の範囲に戻すと自動的に着火して、お湯に切替わります。



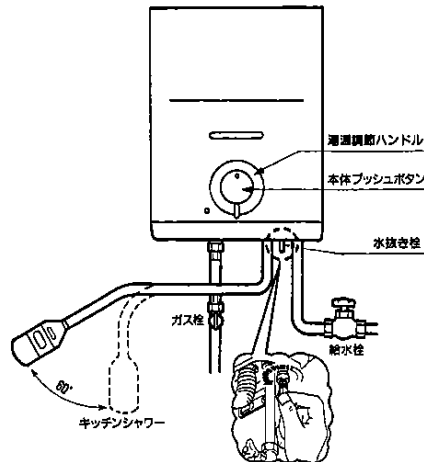
●水の止めかた

2 プッシュボタンを押す

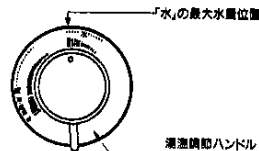


特に、夏場などお湯をお使いにならない時でも、この様にして水道代わりに便利にお使いいただけます。

凍結予防のしかた



冬期、寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結のため器具や配管が破損することがあります。破損した場合、高額な修理費用がかかります。(有料)設置場所の温度が氷点下になり凍結のおそれのある時は、次のいずれかの方法で予防処置を行ってください。



●器具内の水を抜く方法

- ① ガス栓を閉じる。
 - ② 湯温調節ハンドルを「水」の最大水量位置に合わせる。
 - ③ プッシュボタンを押す。出水状態のまま給水栓を閉める。
 - ④ キッチンシャワーの切替スイッチをストレート出湯側に合わせる。
 - ⑤ キッチンシャワーを80°に傾ける。
 - ⑥ 水抜き栓をはずす。
- 再びご使用になる時は、水抜き栓をしっかり閉じて、(5ページ)の「操作前の準備と確認」の処理を行ってください。

●水を流しっ放しにする方法

- ① ガス栓を閉じる。
 - ② 湯温調節ハンドルを「水」に合わせる。
 - ③ キッチンシャワーの切替スイッチをストレート出湯側に合わせる。
 - ④ プッシュボタンを押す。
 - ⑤ 給水栓を少しずつ閉じてください。
- 水量が1分間に牛乳ビン1本(200cc)程度(特に寒日は、それ以上)流れる様にしてください。
(水量が不安定なことがありますので、30分後くらいにもう一度確認してください。)

◎注意

- 凍結したときには、とけるのを待ってから(8ページ)の「水の出しかた・止めかた」により ①水の出ること ②水漏れのないこと ③作動に異常のないことを確かめてからご使用してください。

点検・お手入れ

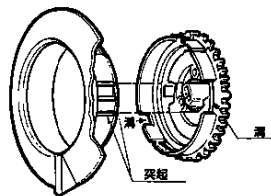
● 日常の点検・お手入れ

① ゴム管が折れたり、ひび割れたりしていませんか？

- ゴム管や接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで点検してください。
- ひび割れたり、差し込み部がゆるんだゴム管は、必ず取り替えてください。

② 熱交換器のつまりはありませんか？

- 熱交換器(排気口部分)に白い粉やススなどのつまりがあるときは、不快なおいがしたり、炎に不ぞろいの異常が生じたりします。このようなときには使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。(有料)

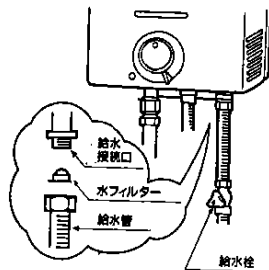


③ 前板・後板・排気フードのそうじ

- 湯沸器の前板・後板・排気フードの汚れは、やわらかい布に台所用中性洗剤を付けてふき取ってください。金属たわし、スポンジたわし、みがき粉、ジナーなどは使用しないでください。
- 湯温調節ハンドルを取り外して前板のそうじをした際は、湯温調節ハンドルの取付け方向にご注意ください。

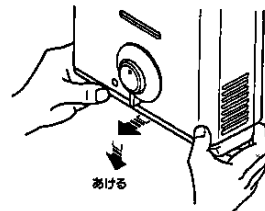
④ 水フィルターのそうじ

- 湯沸器の水の出が悪くなったときは、水フィルターにゴミや砂がたまっていることがあります。次の手順でつまりを確認し、そうじしてください。
- ① 給水栓を閉じてください。
- ② 配管カバーを外したあと工具で給水管を外し、水フィルターを引き出し、確認しそうじしてください。
- ③ 給水栓を開いて水を流し、配管内からゴミが出ないことを確認してください。給水栓を閉じて、元どおり取り付けてください。

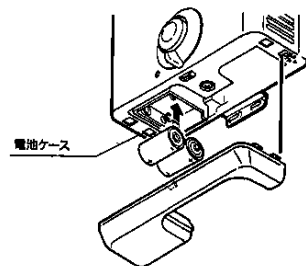


● 乾電池の交換

- ① 配管カバーを両手で持ち、手前にスライドし取り外してください。



- ② 乾電池は付属品と同じ単1形(1.5V)を2本同時に新しいものと交換してください。
- ③ 乾電池を入れるときは⊕⊖の方向に注意してください。



- ④ 電池交換後、配管カバーのツメ(4ヶ所)を器体の角穴に差し込み、両手で奥の方にスライドし、確実にセットしてください。

ご注意

- 湯沸器を安全に長くご使用いただくために日常の点検、お手入れは必ず行ってください。
- 日常の点検・お手入れの際にはガス栓、給水栓を閉じて、湯沸器が十分冷えてから行ってください。

ご注意

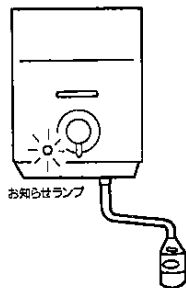
- 湯沸器の内部は分解しないでください。
- 乾電池の寿命はおよそ1年が目です。
- 乾電池が消耗してくると、プッシュボタンを押しても点火せず、ランプが点灯します。または、プッシュボタンを押した直後にランプが点灯する場合があります。このときには新しい乾電池と交換してください。

故障かな?と思ったら

●お知らせランプ について

次のようなときに器具の左下にあるお知らせランプが「点灯」します。(出湯操作時)

- 電池の交換が必要なとき。
- ガス栓が閉まっているとき。
- 安全装置がはたらいたとき。



●安全装置の種類

①立消え安全装置

- バーナーが消えるとこの安全装置が働いて自動的にガスを止めます。

②不完全燃焼防止装置

- 部屋の換気不足や熱交換器のつまりなどが起こると不完全燃焼となります。このときに、この装置が働いて自動的にガスを止め、不完全燃焼による事故を防ぎます。

③過熱防止装置(温度ヒューズ)

- 使用中器具本体内の温度が異常に高くなったときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

●安全装置が作動した ときの処置方法

- 使用時にバーナーの消火に気付かれたときは、次の処置をしてください。

- ①すぐに消火・出湯停止の操作をしてください。
- ②戸や窓を開いて換気をしてください。
- ③しばらく(約1分)待ってから、点火・出湯操作をしてください。
- ④不着火または途中消火がたびたび起こる場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

故障かな?と思われたらただちに使用を中止し、一度つぎのことをお調べください。

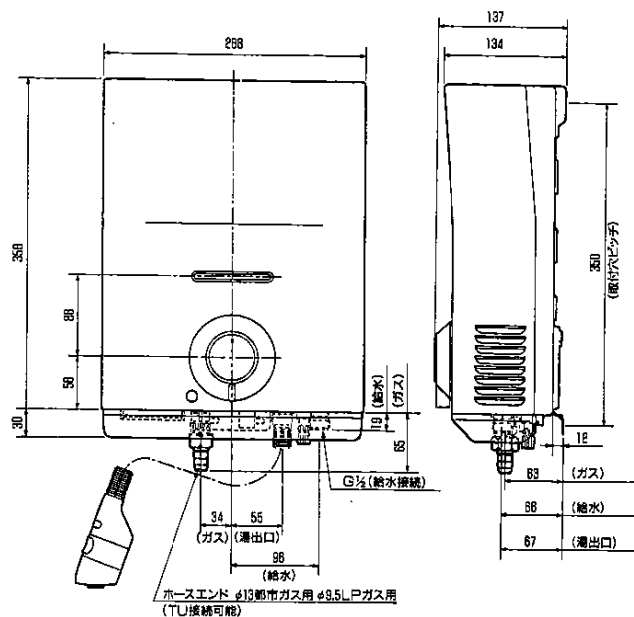
こんなとき (現象)	使用中に消火する	点火・出湯操作をしても着火しない	異常な燃える・すすが仕舞いの	炎が異常・不安定なおいがある	異常な音をたてて燃える	高温の湯が出ない	湯温調節ハンドルを回しても湯が沸騰しない・沸えぬ	湯温調節ハンドルを回しても湯が沸騰しない	湯温調節ハンドルを回しても湯が沸騰しない	湯温調節ハンドルを回しても湯が沸騰しない	湯温調節ハンドルを回しても湯が沸騰しない	湯温調節ハンドルを回しても湯が沸騰しない	湯温調節ハンドルを回しても湯が沸騰しない	湯温調節ハンドルを回しても湯が沸騰しない	湯温調節ハンドルを回しても湯が沸騰しない	湯温調節ハンドルを回しても湯が沸騰しない	湯温調節ハンドルを回しても湯が沸騰しない	湯温調節ハンドルを回しても湯が沸騰しない	処置方法	参照ページ
																			お問い合わせいただくこと (原因)	
ガス栓の開き不十分	○	○																	プッシュボタンを押して消火・出湯停止してからガス栓を全開にする。	5
給水栓の開き不十分	○	○						○	○										給水栓を全開にする。	5
配管(ゴム管)内に空気が入っている・残っている		○																	点火するまで、点火操作を繰り返す。	6
湯沸器の水フィルターが詰まっている	○	○						○	○										水フィルターをそうじする。	11
水圧が適切でない	○	○						○	○										点検を依頼する。	20
換気不足	○			○															ご使用を中止し窓をあげる。	3
乾電池が消耗している		○																	乾電池を交換する。	11
バーナーのつまり			○	○	○														点検・そうじを依頼する。	—
熱交換器のつまり	○	○		○	○														点検・そうじを依頼する。	10
安全装置が作動	○	○																	点検・修理を依頼する。	12
点火装置の故障		○																	点検・修理を依頼する。	—
消し忘れ防止機能が作動	○																		再度点火操作をする。	6

- このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社へご連絡ください。
- 修理は絶対にお客さまご自身でなさないでください。不完全な処置は事故のもとになります。

故障かな?と思ったら「お知らせランプ」について

寸法図

(単位：mm)



仕様

品名	ガス小型湯沸器		
大阪ガス商品コード	93-058型		
型式名	YF52B		
種類	給湯方式	元止め式	
	給排気方式	開放式	
点火方式	連続スパーク点火		
最低作動水圧	0.35kgf/cm ²		
使用水圧	0.5kgf/cm ² ～10kgf/cm ²		
排気温度	260°C以下		
外形寸法	高さ388mm×幅288mm×奥行137mm		
重量(本体)	5.4kg		
接続	給水	15A(G1/2)	
	ガス	都市ガスφ13mmゴム管接続口 LPガスφ9.5mmゴム管接続口 (F1/2TUねじ接続可能)	
安全装置	立消え安全装置・不完全燃焼防止装置・過熱防止装置		
付属部品	湯出口管セット・木ねじ(3本)・乾電池(単1×2個)		
使用ガスの種類とガスグループ	1時間当りの ガス消費量	出湯能力Q/min	
		上昇温度	
都市ガス 13A	kcal/h	m ³ /h	25°C
	9,600	0.9	(5.1)
LPガス	0.80kg/h	(5.0)	3.2

- 備考
- 出湯能力は給水圧力1kgf/cm²のとき。
 - ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
 - 出湯能力の()内は、計算値です。実際に25°C上昇されると湯温ハンドルによりガス量が絞られるため、出湯量は若干少なくなります。

保管とアフターサービス

●保管(長期間使用しない場合)

- ガス元栓を閉じ、水抜きを行ってください。(9ページ参照)
- 乾電池を電池ケースより抜いてください。(乾電池の液もれにより、器具をいためることがあります。)
- 器具を長期間使用しなかったときには、すぐに飲料用や調理用にお使いにならないで、少し(コップ2~3杯分)流してからお使いください。

●アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- サービス(点検・修理)を依頼される前に「故障かな?と思ったら」(12ページ)の項を見て、もう一度ご確認ください。それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないで買い求めの販売店、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。
- ご連絡の際には次のことをお知らせください。
 1. 製品名……………ガス小型湯沸器
 2. 大阪ガス商品コード…湯沸器の右側面に貼付してあります。
例 (N)33-058(U)
大阪ガス株式会社 07
 3. 現象……………できるだけ詳しく。
 4. 道順……………できるだけ詳しく。

転居されるとき

- ガスの種類の異なる地域へ転居される場合
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、買い求めの販売店、またはもりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証・補修について

- 保証期間中は………
保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理について
買い求めの販売店、またはもりの大阪ガス支社にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造切後6年間です。

設置・工事

工事される 方へお願い

この器具を安全に使っていただくために、以下の説明をしっかりと読みいただき指定された工事を実行してください。工事終了後は、試点火、試運転のうえ、操作方法をお客様に説明していただき最後に忘れずに、この説明書をお客様にお渡しください。

●設置・工事される前に

使用ガスの確認

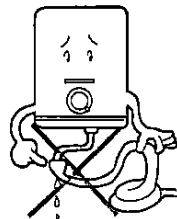
- ①器具(銘板)に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では、使用しないでください。
- ②銘板は器具右側面に貼っています。
- ③ガスの種類には都市ガス13種類とLPガスとがあり、さらに都市ガスにはガスグループの区分があります。お宅のガスと一致していることをご確認ください。

(銘板)



用途の確認

この器具は元止め式ですので、給湯配管(止めの配管)や給湯ホースの接続は絶対しないでください。

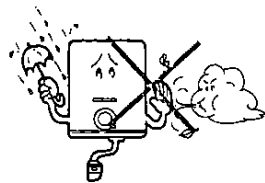


設置場所について

- 次のような所へは設置しないでください。

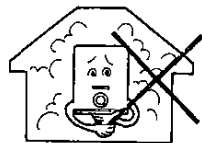
屋外

雨・風のため火が消えたり、冬期には凍結して器具が破損することがあります。



換気が不十分な所

器具が完全燃焼するためには多量の新鮮な空気が必要です。換気扇及び給気口を設けて十分な換気をしてください。



浴室内

湿気が多く、換気が不十分なため不完全燃焼を起こし易く非常にキケンです。

設置・工事

湯沸器の、のぞき窓の位置が目の高さになるくらいの高さに取り付けると、点火・消火が確認しやすく便利です。

ガスコンロ・ガスレンジの上

排気ガスや調理物の蒸気・油などにより、不完全燃焼や故障の原因になります。

理・美容店・クリーニング店・工場等

特殊薬品(アンモニア・硫黄・塩素・エチレン化合物・酸類等)を使用する室内では、酸化した薬品により器具内の部品を損傷したり、不完全燃焼を起こしたりすることがあります。

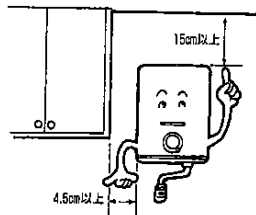
引火性危険物の近く

ガソリン、ベンジンなど引火性の危険物を取り扱う場所には設置しないでください。

直接、風にあたる所

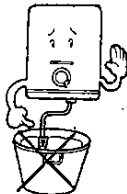
冷暖房機器の吹き出し口付近など、器具に直接、風があたるような所は不完全燃焼を起こし易いため避けてください。

- 防火上、保守点検上、周囲は次のスペースを確保してください。



- 1 天井から15cm以上離してください。
 - 天井や、たなが変形・変色しやすい恐れのある場合は、設置しないでください。
- 2 器具の両側面は戸棚・壁などから4.5cm以上離してください。

- バケツ等、容器にお湯を取る際にキッチンシャワーの先端が水に浸らないようなるべく高い位置に取り付けてください。

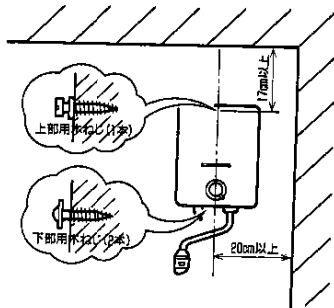


● 器具の設置

- 1 天井より17cm以上、戸棚や壁などより20cm以上離れた位置に、上部用の木ねじ(1本)をいっばいねじ込んでください。
(上部用(1本)、下部用(2本)の木ねじがありますのでご注意ください。)

取付壁面に十分な強度がない場合は補強工事をしてください。

- 2 ねじ込んだ上部用木ねじに器具の取付足上部穴を引っ掛けてください。
- 3 器具をまっすぐにしてから取付足下部穴(2か所)を下部用木ねじ(2本)でしっかりと固定してください。

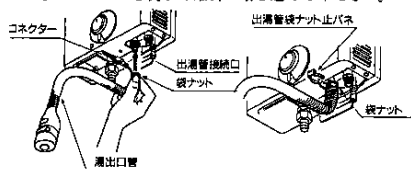


ガス配管工事・給水配管工事の際は配管カバーを外して行ってください。
(11ページ参照)

● 付属部品の取付け

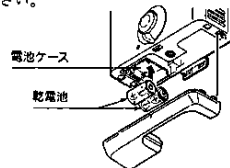
湯出口管の取付け

- 1 湯出口管の湯管袋ナット止バネを取外してください。
- 2 湯出口管を器具底部の湯管接続口にしっかりと差し込んでください。
- 3 湯管接続口の凸起部が、袋ナットに喰い込むまで、袋ナットを締め込んでください。
- 4 湯管袋ナット止バネを袋ナットに確実に取付け、袋ナットが固定されているか確認してください。
- 5 コネクターを奥まで確実に差し込んでください。



乾電池の入れ方

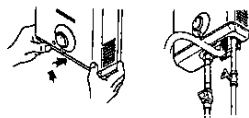
付属の乾電池(単1:2本)を⊕⊖の方向に注意して入れてください。



乾電池の交換のしかたについて、詳しくは11ページをご覧ください。

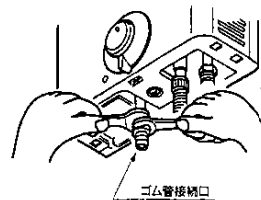
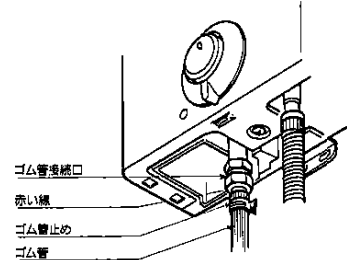
配管カバーの取付け

ガス・給水の配管工事(20ページ)が終わったあと、配管カバーを取付けてください。



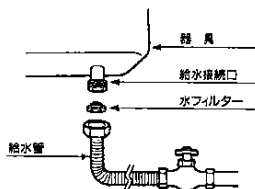
● ガス配管工事

- 1 ガス配管工事はガス供給業者に依頼してください。
- 2 器具を設置する場所に専用ガス栓がない場合、または位置や口径などが適切でない場合は、新設または交換してください。
- 3 ゴム管を挿入する場合は、ゴム管接続口の赤い線までしっかりと差し込み、ゴム管止めで締めてください。
- 4 ゴム管を他の部屋から延長したり、継ぎ足しや分岐(ふたまた)させたりしないでください。
- 5 金属管、金属可とう管または継手強化ガスホースによる配管ができます。
(このとき、ゴム管接続口を取外して配管してください。)
- 6 ゴム管接続口の取外しや金属管などの取付をするときには、器具のガス入口の六角部にスパナを差し込んで取付・取外しをしてください。



●給水配管工事

- ① 給水配管工事は給水事業者の指定工事店に依頼してください。
- ② 給水圧力は、最低0.35kg/cm²(湯温調節「低」の位置)以上ですが、快適にご使用いただくためには、0.5kg/cm²~10kg/cm²が好ましい条件です。
- ③ 水道側には給水栓または分岐水栓を必ず取り付けてください。
- ④ 器具の給水接続口へ給水管を接続してください。(給水管材料は各市町村水道局(課)承認のものをお使いください。)



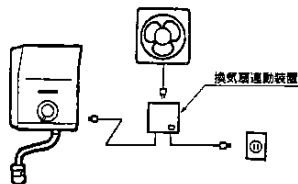
●換気扇連動スイッチ (別売部品)について

- 室内の換気をより確実にするために、便利な換気扇連動装置のご利用をおすすめします。
- 換気扇連動装置をご利用になりますと、湯沸器の点火・消火に連動して、換気扇が自動的に作動・停止します。
- 換気扇連動装置は別売していますので、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

換気扇連動装置に接続の際は、別売部品が必要です。

- 95-205の場合
換気連動中継コードが必要です。
- 95-210B、95-210の場合
換気連動アタッチメントが必要です。
- 95-210Aの場合
換気連動アタッチメントと接続アタッチメントAが必要です。

詳しくは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。



ご注意

- ゴム管が長すぎたり短かすぎると、折れたりねじれることがありますので、ご注意ください。
- ゴム管はガスこんろなどの熱を受けたり、高温部に触れないようにしてください。(ゴム管の寿命が短くなります。)
- 給水管を接続する前に、給水栓を開いて配管内のゴミ・砂・シール材などがなくなるまで水を流してください。
- 給水管を接続する前に、給水接続口に水フィルターがはめ込まれていることを必ずご確認ください。